工業っ子

NO. 089
—発行日—
2013. 10. 25
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

総合優勝 建築科
進行連覇 電気科
快進撃 工業化学科
白熱!!情熱!!体育祭

体育祭総括
各科リーダーに聞く!!!

九月二十九日の長工体育祭。昨年より二週間も早い開催でしたが、各科夏休みから練習を重ね、準備をし帰り広げられた熱き戦い。各科のリーダーは体育祭をどう振り返ったでしょうか。

①体育祭を終えて。
②本番の出来を、百点満点で！
③一番力を入れたモノ。
④科のみんなに一言。
⑤来年へのアドバイス。

総合優勝 建築科
二位 三位 電気 機械システム

▲見よ。大・迫・力!!!

勝ったよ。A 建築科

①総合優勝で盛り上がりMAX。東MAX。
②八十点。行進とパレードは二位だったので。
③パレード。
④次も優勝せんかい、ばかちんが！
⑤なせばなる！己を磨け。

行進優勝 電気科
二位 建築 三位 機械システム

①行進連覇を達成出来て嬉しい。総合二位は悔しいけど、パレード入賞も出来たので悔いはない。
②九十九点。良かったが、総合で二位だったから。
③行進。全員でよい気持ちになった。
④お疲れ様でした。
⑤行進の連覇を頼む。

歴史を刻め 電気科 E

団結力!! P 機械システム科

①楽しくできた。結果三位だったけど、団結では一位だった。
②百点。全員参加できてよかった。
③行進。練習の成果が出ていた。
④お疲れ様。
⑤計画的に頑張れ。

二冠達成! 工業化学科

①C科はもう、一つだよ。
②パレードが百二十点。いつものC科を超えた。
③パレード。独創的なストーリー性と情熱的なのまとまり。
④みんなノリよくついてきてくれてありがとう。
⑤パレード&応援幕で連覇。行進は三位を狙え。

全力投球 インテリア科
二位 インテリア 三位 建築

▼揺るぎない自信の歩み

①超大変だった。頭痛い。
②百点。練習がんばったから。
③全て力を入れた。けど、はいつ、どんな人にでも平等に生じ、そして連鎖します。これにより、周囲の人々の最も強い感情が周囲の空気に如実に表れるのです。
もちろんそれはあなたの身の周りでも同様に起こること。あなたの心次第で、「空気」はどうにでも変化するのです。
あなたが笑えば、空気も笑う。「いい」空気を周囲に広げ、それを継続していくことが、毎日を楽しく生きるコツだと私は思います。

（山田）

優勝 工業化学科 応援幕
二位 建築 三位 電気

パレード
二位 建築 三位 電気

惜しくも連覇ならず 機械科

▶新競技②「一心同体」
▼上手く踊れたかな？

▶クディィイッチ!

①去年の先輩達は優勝したけど、今年できなかったので悔しい。でも一生懸命練習してきたので良い思い出になった。
②八十点。練習通り出来たので。
③全部。
④皆さんお疲れ様でした。
⑤来年は優勝して下さい。

綱引き 今年も優勝 電子工学科 E

①とても楽しかった。D科的に最高の盛り上がり。
②九十八点。本番前に怪我しました。
③パレード。腕立ての角度を工夫した。
④無冠の王者としてのプライドを持って頑張れ。
⑤行進とパレードでは取れるはず。

▲ふっ!はっっ!!

次こそは「J勝ちぬ」 情報技術科 J

①結果に納得いってない。
②四十五点。賞がないけどしょうがない。
③各科対抗リレー。Jのリレーをなめるなよ。
④④次こそは J立ちぬ。
⑤早め早めに行動した方がいいです。

「心に響いた」
～観覧の保護者に聞きました～

Q体育祭はどうですか。
―去年も来たが、更に面白くなっていた／見ていて楽しい／すごく面白い。来てよかったと思う／青春してるな、と。
Q印象に残った競技は。
▼組体操―迫力があって、心に響いた。
▼パレード―各科の個性が出ていた／良く工夫されていて、楽しめた。
▼行進―一歩一歩に迫力がある。
Q応援幕、どうですか。
―全体的に色使いが好き。／結構どれも立体的！必死な感じが出ている／1科のは貫禄がある。
ご協力頂いた保護者の皆様、有難うございました。

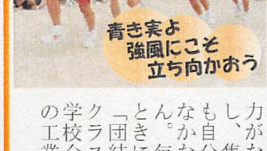
青春日記

先日、流行に乗っかって半●直樹を見ました。ドラマなんてしばらくぶりだったのでいかがなものかと思っていたのですが、いざ見始めるとその勢い、止まる事を知らず。予想以上の面白さに、眼鏡を拭く事も忘れていました。「上司の汚職を見破るシーンなんかは見ていてスカッとしますよね。え？今の流行りは●ーガル・ハイ？知らんなぁ。さぁ突然ですが、いよいよお米収穫のゴールデンタイム。私の家では少し前に稲刈りが終わり、一時の日干し期間を経て、ついに収穫の最終段階へとこぎつけました。「日本が二黄金の国」と呼ばれる由縁の一つである「稲穂」。その稲穂から採れる米はまさに黄金そのものの。米を食べるということは、古から伝わる大和魂を体に取り入れることに等しいのです。
しかし、最近では日本全国で一日本人のお米離れ」が進んでいるそうではありませんか！日本人の誇りを忘れたか！パンが無ければケーキを食べるのか！パスタは甘えだ！お米食えよお米ぇ！：ということを近所の農家の方がおっしゃっていました。TPPや安い外国産野菜の登場で不満が溜まってるのでしょう：。そういえば、市内の学校には農業体験をしないところがあるそうで。もったいないですねぇ～楽しいのに～。私の小学校では育てた米を調理して振舞う「お米パーティー」などがありました。カレーなどなどなど…うまかったのう。
：嗚呼、太ってても気にしなかったあの頃に戻りたい：。

（山田）

今日の一枚 ～全員で～

▼全力で走る!!



今月は体育祭特集号。行事があるたびに思うのが一団結」って大切だということ。物事を決めるのにもクラス全員の協力がなくてはできませんし、集団行動をするときも自分勝手な人がいるとなかなかうまくいきません。毎日のちょっとしたときにふと気づかされる「団結力」。工業展も間近。クラス、学科、部活動：学校全体で団結して最高の工業展にしましょう。

（畠道）

▲新競技①「長工覇王伝説」

サムシング イン ジ エアー

全ての物質がこの世に存在するために絶対必要なもの。水とは対照的に、日々、私たちがあまり意識をしていないもの。極地から赤道、シベリア、砂漠地帯に至るまで、この地球に止めどなく溢れているもの。それが「空気」。大別して窒素、酸素、二酸化炭素とその他もろもろの成分を含むこの混合物が私達の生命を保っていることは、幼稚園児でも知る周知の事実です。

しかし「空気」の懐は深い。私達が「空気」を意識するとき、そこに感じ取るのは非科学的なものです。

例えば、時間帯ごとの電車の空気。部活で帰りが遅くなり、終電が近づいてきた頃に乗る電車の中から感じるのは、どこか疲れたような、ぐったりとした雰囲気。それに対し、休日の昼間に走る電車内からは「生気」や「活力」といったどちらかと言えばプラスのエネルギーが漂っているように感じます。

同じ電車内なのに、感じる雰囲気がこんなにも違うのはなぜでしょうか。

その答えは、空気にはその周囲の人々の感情が大いに含まれているからです。

大抵の場合、遅い電車には一日の活動を終え、疲労を感じている人々、昼間の電車にはいざ、これから何かをするぞ！と思う人が乗車をします。すると、電車という容れ物は同じでも空気が違ってきます。

このような空気の変化